

情報信託機能の認定スキームの在り方に関する検討会

おもてなしICT協議会

さいたま市・（一社）美園タウンマネジメントの取り組み

平成31年2月12日

さいたま市

環境局環境共生部環境未来都市推進課

1 体制

代表団体



共同提案団体

観光（スポーツ含む）の「情報信託機能活用促進事業」
広島県等

地域、ヘルスケアの「情報信託機能活用促進事業」



さいたま市

（事業実施者も兼ねる）



事業実施主体

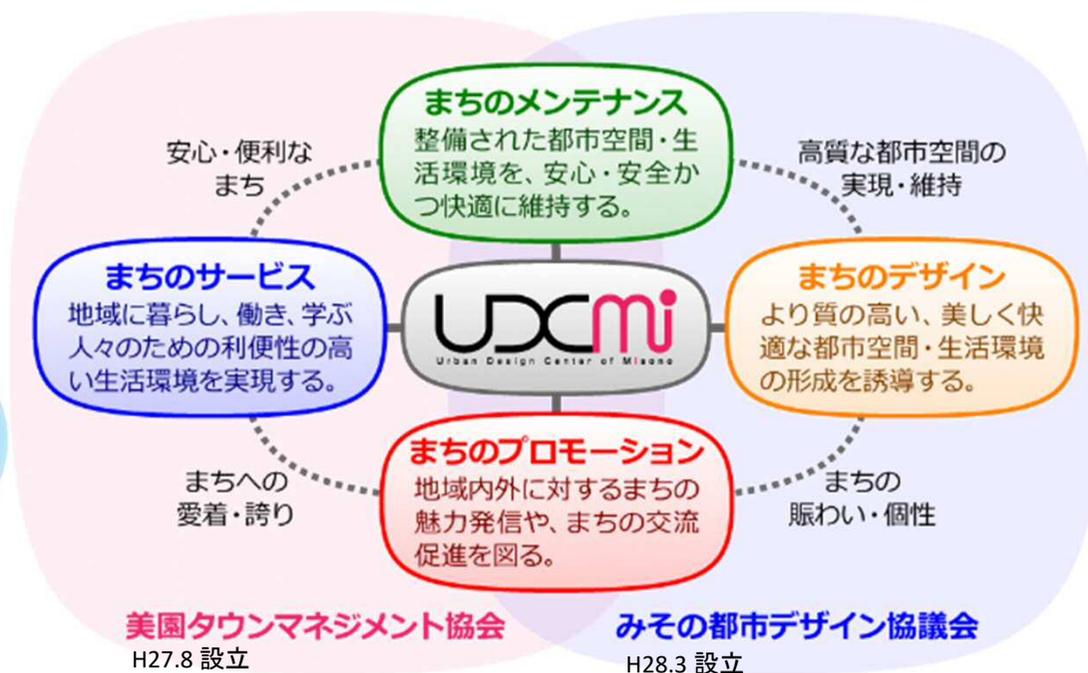


一般社団法人

美園タウンマネジメント

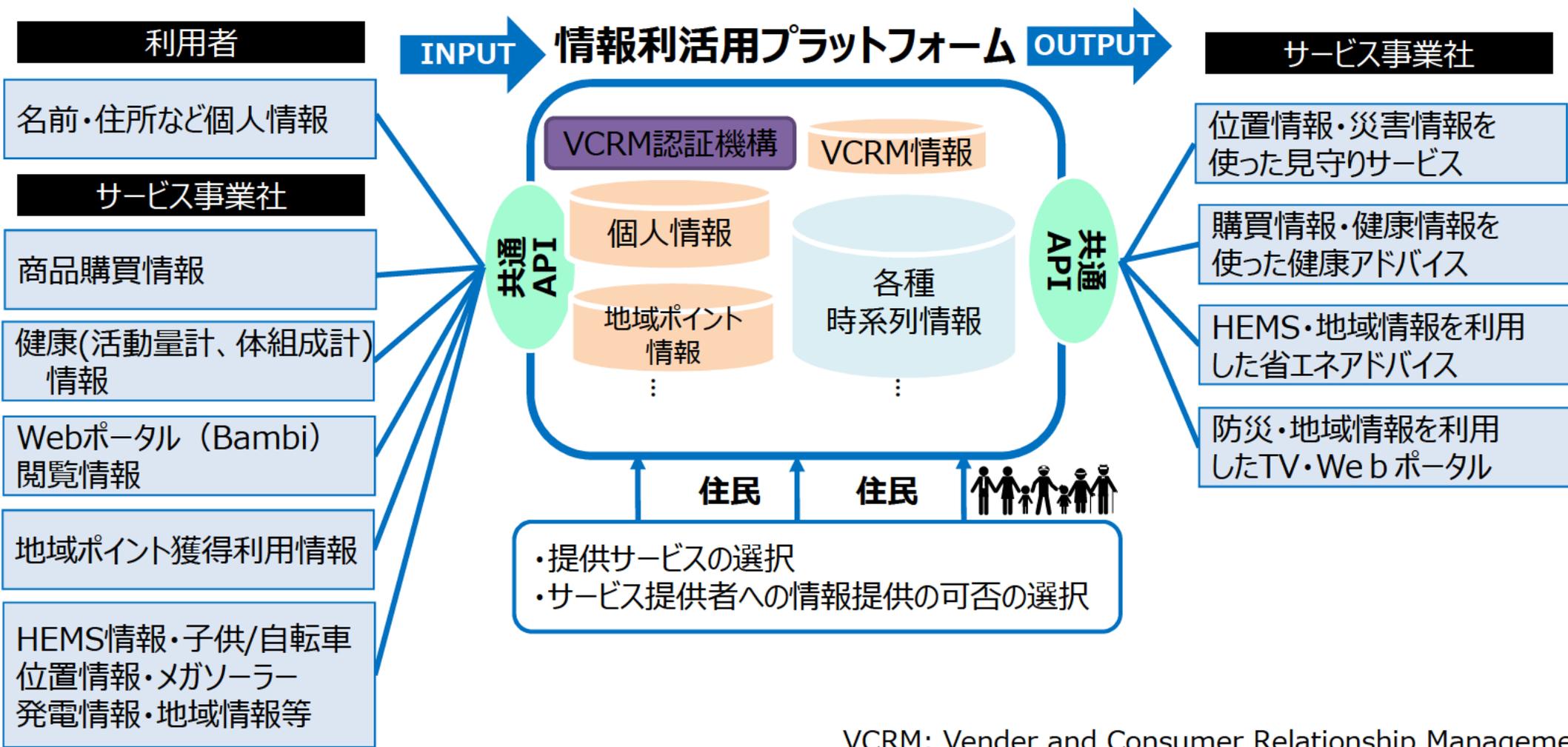
平成27年7月設立。さいたま市美園地区のまちづくりへの取組みを実施

2 さいたま市・美園タウンマネジメントのこれまでの取り組み



「安心・安全」、「快適・便利」、「楽しく・豊か」なまちづくりを推進するため、ICTを活用した先進的なサービスを順次展開している

3 超スマート社会実現に向けて



VCRM: Vender and Consumer Relationship Management

※ベンダ (事業者) ・コンシューマ (利用者) の双方から情報の権限管理を行う機構

5 安心して情報を預ける（操作が容易なユーザインターフェースの提供）

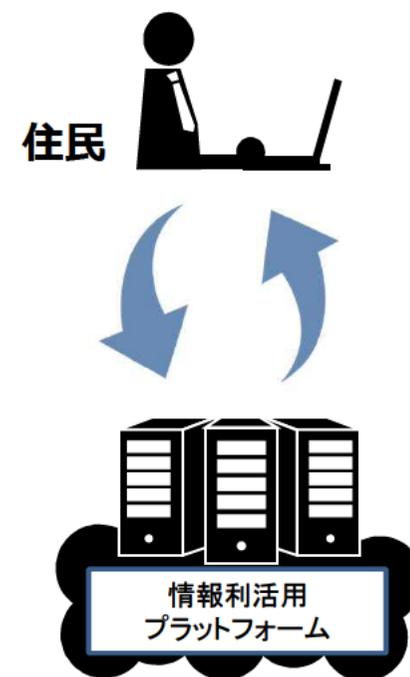
◆利用画面イメージ

参加中サービス一覧

サービス名	サービス提供者	サービス概要	
健康 アドバイス	TANITA 株式会社 タニタヘルスリンク	購買履歴と体組成計データをもとに健康アドバイスをを行います。	停止
食品購入 アドバイス	AEON イオンリテール 株式会社	購買履歴と体組成計データをもとに食品購入に関するアドバイスをを行います。	停止

提供中の個人情報一覧

サービス名	サービス提供者	サービス概要	
タニタ歩数計・体組成計データ	TANITA 株式会社 タニタヘルスリンク	歩数計と体組成計のデータを提供します。	停止
イオン購買データ	AEON イオンリテール 株式会社	イオン浦和美園店での購買データを提供します。	停止



「誰が」「どんな」情報を活用しているか

利用者が「どんな」情報を預けているかをわかりやすく知る・設定する手段を提供

6 安心して情報を受け渡しする（VCRM）

◆利用画面イメージ

VRM		CRM			
		A社	B社	C社	D社
		ヘルスケアサービス	省エネサービス	活動量送信サービス	電力情報送信サービス
		必要情報（参照）： 名前・性別・活動量・購買	必要情報（参照）： 名前・電力	必要情報（挿入）： 活動量	必要情報（挿入）： 電力
利用者A		サービスを受ける	サービスを受ける	サービスを受ける	サービスを受ける
	名前	○(参照)	○(参照)	×	×
	性別	○(参照)	×	×	×
	電力データ	×	○(参照)	×	○(挿入)
	活動量データ	○(参照)	×	○(挿入)	×
	購買データ	○(参照)	×	×	×
	位置データ	×	×	×	×

アクセス権限

- 利用者：受けるサービスを指定(VRM: Vender Relationship Management)
 - サービス提供者：必要なデータおよびアクセス種別を指定(CRM: Customer Relationship Management)
- VRMとCRMを合わせたVCRM機構(慶應義塾大学理工学部 西 宏章教授の研究成果)を活用することでサービス提供者が、アクセスできる情報が適切に設定される

7 モニター募集



- 事業開始に先立ち、市長が記者発表を実施。「安全は日々進化しているテクノロジー（技術）によって解決が可能であるが、「安心」は気持ちの問題であり、テクノロジーでは解決ができない。しかし、パーソナルデータの利活用を社会実装していくためには、その不安を安心に変える必要がある。そこで、行政が先導的に取り組み、パーソナルデータの利活用に対する「安心」を提供していきたい」
- 公式ホームページに加え、美園タウンマネジメント協会、さいたま市ホームページによる周知を実施。
- モニター：670名



9 - ① 健康プログラムの開催状況(1)



【第一興商の音楽健康教室[歌で健康プログラム]】

- 平成30年12月17日(月) 55名
- 平成31年 2月 1日(金) 53名

【埼玉スタジアム2002特別ツアー】

- 平成30年11月23日(祝) 45名
- 平成31年 1月17日(木) 70名



9 - ② 健康プログラムの開催状況(2)



筋膜リリース教室

- 平成30年12月5日(水)
- 平成31年1月21日(月)



みその健康ダイエットセミナー
~1か月で“5kg痩せたい”を
叶えるダイエット法~

- 平成30年12月13日(木)



見沼田んぼ「健幸ウォーキング」

- 平成30年12月1日(土)

10-① 情報利活用の実証内容（医師の知見を活用）



① 医師の知見により、健康改善に資するモニターのスクリーニング



③ レクチャーを受けたモニターはアドバイスを受けた食材を使用した料理を摂取

② 絞り込んだモニターに、医師が食材のアドバイス等を含めた健康についてのレクチャーを実施（31名参加）



④ レクチャー前後の購買情報と健康情報を分析し、モニターへの効果の把握を行うとともに、マネタイズの検証を実施



10-② 情報利活用の実証内容（薬剤師の知見を活用）



- ① 薬剤師がセミナーのテーマを掲げ、参加を希望するモニターが応募



- ③ レクチャーを受けたモニターはご自身の判断でヘルスケア製品（医薬品）を使用

- ② モニターに薬剤師がヘルスケア製品（医薬品）のアドバイス等を含めた健康についてのレクチャーを実施（30名参加）



- ④ レクチャー前後の購買情報と健康情報を分析し、モニターへの効果の把握を行うとともに、マネタイズの検証を実施



10-③ 情報利活用の実証内容（管理栄養士の知見を活用）



① 管理栄養士がカウンセリングのテーマを掲げ、参加を希望するモニターが応募



③ カウンセリングを受けたモニターはアドバイスを受けた食材を使用した料理を摂取

② モニターに、管理栄養士が食材のアドバイス等を含め、個別に対面でカウンセリングを実施（70名参加）



④ カウンセリング前後の購買情報と健康情報を分析し、モニターへの効果の把握を行うとともに、マネタイズの検証を実施



1 1 進捗状況

I. 健康プログラム

- 2月末まで実施

II. 情報利活用について

- 1月中の購買・健康データにて分析中

III. アンケート

- 健康プログラムおよび情報利活用プログラムについて、参加者のアンケートを収集し、逐次分析中

IV. 結果報告

- 情報利活用について、速報値がまとまり次第、時点報告を行うとともに、委託事業終了までに全体結果報告を実施する